

## 南風病院における勤務医・看護職員 負担軽減計画 (2021 年度)

2021 年 3 月現在の勤務医の勤務状況
1. 医師数 常勤 69 人(研修医8人含む) 非常勤 318 人
2. 常勤医師平均勤務時間 週平均 40 時間
3. 当直回数 平均 月 1.2回

目標
○当院では、急性期病院の役割を果たすため、医師、医療関係職員、事務職員等との間での業務の役割分担を推進して、医師・看護職員の負担軽減の体制を確保する。最新の医療の提供に努めるという基本方針の元、働き方改革を推進する。それにより、医師・看護師が業務に専念することで、効率的な業務運営がなされるよう、チーム医療を推進することを旨

	項目	行動計画	
医師と医療関係職種・医療関係職種と事務員等における役割分担	外来対応	初診時の予診 静脈採血およびルートキープ 入院説明 検査手順の説明 外来患者のトリアージ	
	クリニカルパスの活用支援	作成や登録の支援	
	早期退院に向けての入退院支援	病棟ごとの退院支援看護師および退院支援MSWの配置	
	看護外来の設置	がん看護外来 ストーマ外来 じんどう看護外来	
	特定看護師による特定行為(創傷管理領域)	局所陰圧閉鎖療法および血流のない壊死組織除去	
	薬剤師指導の実施および処方提案と処方支援	薬剤指導および処方提案(主に化学療法) 病棟常駐薬剤師の配置	
	情報処理	画像情報の取込およびCDの作成	
	食事指導	【管理栄養士】食事指導および入力補助	
	文書作成支援	文書作成および診断書作成 診療情報提供体制	
	臨床研究	研究支援	
	患者情報	【医事課・診療情報管理士】がん登録および学会等データ抽出	
	予約	予約センター	
	診療科の運営面支援	事務系職員による情報提供	
	各チーム等による支援	NST・緩和ケアチーム・認知症ケアチーム・ICT・ASTの活動 せん妄ハイリスク患者の支援	
	IT、IoT、ICTの活用	病診連携システムWEBの活用 オンライン診療などの導入	
	タスクフティングの推進	他職種へのタスクシフト推進	
	医師の勤務体制等にかかる取組み	医師の働き方改革	連続当直を行わない勤務体制 勤務時間インターバルの推奨 予定手術前日の当直を実施しない配慮 当直翌日の業務内容に対する配慮 交替勤務制の推奨 複数主治医制の推奨 育児・介護法第23条第1項、同条第3項又は第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用推進
		研修医の確保	初期研修医の確保および後期研修医の採用推進
		女性医師の活躍推進	病児保育・日曜祝日保育のニーズ調査および実施検討 産休・育休者の代替えスタッフ確保の方法検討 院内保育所・なんぶう塾の設置
		部署横断的看護補助者業務の拡大 認知症患者対応	【看護補助者】①センター化 ②リハビリ室または透析室からの患者移送 ③衛生材料整備 ④各部署の定期シーツ交換 【看護補助者】デイケアにて看護師と共にレクリエーションの実施
看護師と看護補助者、看護師と事務員等における役割分担	看護職員と他職種との業務分担	【薬剤師】持参薬確認・麻薬返品時回収業務 【リハビリ職員】ベッドサイドリハビリおよび搬送業務 【歯科衛生士】口腔ケアおよび歯科連携業務 【検査技師】外来における採血業務 【検査技師】病棟翌日分の採血管等の作成・配布・回収・検査 【臨床工学技士】医療機器病棟巡回や点検作業、透析室における医療機器の点検・管理、手術室における医師支援業務 【事務職】各種事務補助業務支援および受付・窓口対応 手術室への事務員配置 【MSW】退院調整、家族面談等	
	業務のIT化促進	看護データの自動取得推進および支援	
	看護師、看護補助者の処遇改善	夜勤手当および職務手当の支給	
	相談窓口	健康管理室の設置および支援	
	看護職員の勤務体制等にかかる取組み	看護師の働き方改革	育児および介護の短時間正規職員制度 傷病後職員等の短時間正規職員制度 看護職員の勤務間インターバル(11時間)確保(病棟・手術室適応) 変則勤務の導入検討(遅日勤、土曜日の早出)
妊娠・子育て・介護		院内保育所の設置 夜間保育の体制確保 夜勤の減免制度 時間単位休暇制度 他部署への配置転換の考慮 なんぶう塾の設置および支援	
夜勤負担軽減		夜勤従事者増員のための夜勤専従看護師の配置 患者数(増)に準じ3人~4人夜勤者の配置 夜勤従事者増員における採用活動の強化(職員紹介・支度金支給等) 夜勤回数の上限設定および運用 夜勤のできる看護師確保の推進	
看護職員の確保		看護補助者増員の推進 勤務管理担当の配置 看護部プロジェクト活動	

### (これまで取り組んだ内容)

医師当直従事の平準化。看護師の勤務管理担当者の配置。ICT活用導入検討を開始。